

人口動態調査事務システム標準仕様書修正履歴

NO.	区分	修正箇所	修正内容	修正日
1	別紙2-1	「出生票単体チェック機能-出生日時」要件の考え方・理由、備考	・コードテーブルの記述削除 ・メッセージコード「M90019」→「M90029」に修正	2023/6/29
2	別紙2-1	・「出生票単体チェック機能-他の子の事件簿番号・種別」機能要件 ・「死産票単体チェック機能-他の子の事件簿番号・種別」機能要件	「2 死亡票」→「2 死産票」に修正	2023/6/29
3	別紙2-1	「出生票単体チェック機能-出生場所種別」要件の考え方・理由	チェックコード「K30261」→「K30281」に修正	2023/6/29
4	別紙2-1	「出生票単体チェック機能-単胎・多胎の別」機能要件	「3 不詳」削除	2023/6/29
5	別紙2-1	「死産票関連チェック機能-この母の出産した子の数」備考	メッセージ内容「この出生児も含めて」→「この死産児も含めて」に修正	2023/6/29
6	別紙2-1	「婚姻票関連チェック機能-婚姻解消時の夫婦の年齢（2022年4月1日以降）」要件の考え方・理由、備考	・チェックコード「L30134」→「L30144」に修正 ・メッセージコード「M00269」→「M00094」に修正	2023/6/29
7	別紙2-1	「0.2 マスタ管理機能」機能要件	・「生まれたところ」「死亡したところ」を「日本・日本外(マスタ)」（機能ID：0380009)に統合 ・「日本・外国・不詳の別」（機能ID：0380014)追加	2023/7/4
8	本編	表3-8 操作権限管理	標準オプション機能に ・組織・職務・職位等での操作権限を設定できること ・操作権限一覧で操作権限が設定できることを追加	2023/7/4
9	別紙4	1.11.備考欄別紙、1.12.媒体出力内容	新規追加	2023/7/10
10	別紙3	全体	「姓+全角スペース+名」→「氏+全角スペース+名」に修正	2023/7/10
11	別紙3	1.6.備考欄別紙、6.1.媒体出力内容	新規追加	2023/7/10
12	本編	図3-3	人口動態オンライン報告システムについて追加	2023/7/10
13	本編	表3-12「氏名」の編集条件	「苗字+全角スペース+名」→「氏+全角スペース+名」に修正	2023/7/10

NO.	区分	修正箇所	修正内容	修正日
14	本編	p33 第3章2⑤帳票の文字フォントについて	帳票に印字する際の文字フォントについてIPAmj明朝ではなく、「帳票に印字する文字フォントは、帳票詳細要件又は帳票レイアウトに個別に定める場合を除き、「地方公共団体の基幹情報システムに係るデータ要件・連携要件標準仕様書」の文字要件の文字セット、文字コードに準拠する。また、他の標準準拠システムと同一のパッケージで構成する場合は、そのシステムの文字要件に準拠する。」に修正	2023/7/10
15	別紙2-1	0.2 マスタ管理機能 病院情報（マスタ）について	「病院情報（病院名、医師名）についてマスタで管理できること」について実装必須としていたが、「病院情報（病院名）」（機能ID：0380019）は実装必須、「病院情報（医師名）」（機能ID：0380020）は標準オプションに変更	2023/7/11
16	別紙2-1	0.7 操作権限設定・管理機能 人口動態固有の実装必須機能について	人口動態固有の操作権限管理機能として「戸籍情報システムの操作権限とは別に、人口動態調査事務システムの操作権限を設定できること。」が実装必須機能として存在していたが、標準オプション機能に変更し、既存の「組織・職務・職位等での操作権限を設定できること」（機能ID：0380051）に含めることとした	2023/7/11
17	別紙2-1	機能ID：0380272、 0380273 媒体出力内容の確認について	「※1 媒体内容を印刷することは可能。」の文言を追加 上記に関連して、機能ID：0380272「媒体出力内容を出力できること。」を標準オプション機能として追加	2023/7/11
18	別紙2-1	機能ID：0380274、 0380275 調査票紙媒体出力時の備考欄について	機能ID：0380274において、「※5 備考欄の印字文字数が、60文字を超える場合は、61文字以降を備考欄別紙に印刷すること」の文言追加 上記に関連し、機能ID：0380275「備考欄別紙の出力ができること。」を実装必須機能として追加。	2023/7/11
19	別紙2-1	全体	小項目を「連番+機能名称」で記載。	2023/7/11
20	別紙2-1	機能ID：0380003 文字要件	火葬と記述を合わせる為、 「※1 戸籍情報システムとのワンパッケージの場合は、戸籍情報システムで仕様する文字体系に準ずる。 ※2 戸籍情報システムとのワンパッケージ又は単独システムに関わらず、オンラインシステムへの連携時の文字体系はJIS第一水準、第二水準の範囲内とする。」 記述削除	2023/8/7

NO.	区分	修正箇所	修正内容	修正日
21	別紙2-2	1.1.1.出生票（調査マスタ）：生まれたとき 1.2.1.死亡票（調査マスタ）：生年月日、死亡したとき、外因死の追加事項 1.3.1.死産票（調査マスタ）：死産があった時	「（年月日+時分）」と一つの項目で表現していたが、「年月日」「午前午後の別」「時分」の三項目にそれぞれ分割	2023/8/7
22	別紙2-1	旧機能ID：0380052 データ保存期間	システムで取り扱うレコードの保存期間を1か月とすること。 ※1 14日提出分の調査票の処理が終了次第、データファイルを初期化。 →機能削除	2023/8/14
23	別紙2-1	機能ID：0380053 バックアップ	「※1 人口動態調査レコードバックアップ保存期間は機能ID：0380052にてデータファイルを初期化した時点から1か月とすること。」削除	2023/8/14
24	別紙2-1	機能ID：0380113 手術の年月日	機能ID：0380113（実装必須機能） 手術の有無が「有」の場合、「手術の年月日」が入力されていることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。 備考：「(参考)手術の有無が「有」ですが、手術年月日が空欄です。入力内容を確認してください。(新規)」追加	2023/8/14
25	別紙2-1	機能ID：0380148 胎児死亡の時期	機能ID：0380149（実装必須機能） 機能要件：妊娠期間（週数）が22週未満の場合、「胎児の死亡時期」の入力がないことを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。 備考：「(参考)妊娠週数が22週未満ですが、胎児の死亡時期が入力されています。入力内容を確認してください。(新規)」追加	2023/8/14

NO.	区分	修正箇所	修正内容	修正日
26	別紙2-1	機能ID：0380168 夫の初婚・再婚の別、 妻の初婚・再婚の別	機能ID：0380169（実装必須機能） 機能要件：夫の年齢が70歳以上の場合、初婚でないことを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。 備考：「(参考)夫の年齢が70歳以上ですが、初婚です。入力内容を確認してください。(新規)」  機能ID：0380150（実装必須機能） 機能要件：夫の年齢が70歳以上の場合、初婚でないことを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。 備考：「(参考)夫の年齢が70歳以上ですが、初婚です。入力内容を確認してください。(新規)」 2機能追加	2023/8/14
27	別紙2-1	機能ID：0380181 保存	「※1 一時保存も可能であること。」 記述追加	2023/8/14
28	別紙2-1	機能ID：0380185 非嫡出子の父親と母の国籍	機能ID：0380190（実装必須機能） 機能要件：続き柄=2（非嫡出子）かつ「母の国籍」が日本以外であることを確認できること。 ※1 非嫡出子かつ母の国籍が日本以外の場合、メッセージを表示すること。 備考：「(参考)胎児認知届が届出されているかを確認してください。(新規)」 追加	2023/8/14
29	別紙2-1	機能ID：0380243 多胎と他の子の事件簿番号 の関係	機能ID：0380244（実装必須機能） 機能要件：入力内容と「生年月日」「子の住所」「父の氏名」「母の氏名」が同じ調査票の有無を確認できること。 ※1 入力内容と同じ調査票がある場合、メッセージを表示すること。 備考：「(参考)「生年月日」「子の住所」「父の氏名」「母の氏名」が同じ死産票が存在します。多胎の可能性があるので、内容を確認してください。(新規)」 追加	2023/8/14
30	別紙2-1	機能ID：0380267 (旧0380261) 同居を始めたときの年月と 別居したときの年月の関係	「<」→「≦」修正	2023/8/14
31	別紙2-1	機能ID：0380272 (旧0380266) 検索	「事件簿番号」を追加	2023/8/14

NO.	区分	修正箇所	修正内容	修正日
32	別紙2-1 別紙2-2	別紙2-1 機能ID：0380001 戸籍情報システムとの連携 別紙2-2 1.3.1.死産票（調査マスタ）	別紙2-1 機能ID：0380001 「（出生、死亡、婚姻、離婚票）」 「※4 死産票はレコード上、一切戸籍情報システムとインタフェースを持たない。」 記述削除  別紙2-2 死産票（調査マスタ）に戸籍情報システムとのデータ連携項目を記載	2023/8/14
33	別紙2-2	1.5.1.離婚票（調査マスタ）	以下項目を戸籍情報システムからの連携項目から非連携項目に修正 ・同居を始めたとき ・別居したとき ・別居する前の世帯の主な仕事 ・別居前の夫の職業 ・別居前の妻の職業	2023/8/14
34	別紙3	5.1.受理証明書（死産）	連番5 印字編集条件 「事件本人の本籍」→「母の本籍」修正	2023/8/14
35	別紙2-1	機能ID：0380055～57	機能ID：0380055 「※1 下記のマスタ管理項目も任意入力可 （病院情報(病院名)、病院情報(医師名))」文言追加  機能ID：0380056 「※1 下記のマスタ管理項目も任意入力可 （病名、病院情報(病院名)、病院情報(医師名))」文言追加  機能ID：0380057 「※1 下記のマスタ管理項目も任意入力可 （病名、病院情報(病院名)、病院情報(医師名))」文言追加	2023/8/15
36	別紙1	1.2. 調査票作成（死産）	火葬等許可事務システムへのデータ連携を追加	2023/8/16
37	別紙2-1	機能ID：0380050 操作権限設定・管理	「※1 認証の失敗回数は任意設定とする。」文言追加	2023/8/16
37	別紙2-1	機能ID：0380113 手術の年月日	「※2 該当の死産票の事件簿番号、受領簿番号を表示すること。」文言追加	2023/8/16
38	別紙2-1	機能ID：0380151 死産があったところの種別	機能ID：0380150と内容が重複していたため削除	2023/8/21
39	別紙2-1	機能ID：0380204 多胎と他の子の事件簿番号の関係	新規追加	2023/8/21
40	別紙2-1	機能ID：0380244 多胎と他の子の事件簿番号の関係	文頭に「多胎の場合」追加	2023/8/21

NO.	区分	修正箇所	修正内容	修正日
41	別紙2-1	機能ID：0380050 操作権限設定・管理	「※1 認証の失敗回数は任意設定とする。」→「※1 認証の失敗回数は自治体の運用に合わせて任意で設定する。」に修正	2023/8/22
42	別紙2-2	1.1.1.出生票（調査マスタ） 1.2.1.死亡票（調査マスタ） 1.3.1.死産票（調査マスタ） 1.4.1.婚姻票（調査マスタ） 1.5.1.離婚票（調査マスタ）	「受領番号」追加	2023/8/22
43	別紙2-1	機能ID：0380204、 0380244 多胎と他の子の事件簿番号 の関係 備考	「「生年月日」「子の住所」「父の氏名」「母の氏名」が同じ死産票が存在します。多胎の可能性がありますので、内容を確認してください。」→「「生年月日」「子の住所」「父の氏名」「母の氏名」が同じ死産票が存在します（事件簿番号：X～X、受領番号：X～X）。多胎の可能性がありますので、内容を確認してください。」に修正	2023/8/22
44	別紙2-1	0380052 データの蓄積	機能名称「バックアップ」→「データの蓄積」に修正 機能要件「システムで取り扱うレコードについてバックアップを取得すること。」→「過去のレコードを蓄積・保存できること。」に修正	2023/8/24
45	別紙2-1	0380204 多胎と他の子の事件簿番号 の関係	機能要件※2 「該当の出生票の事件簿番号、受領簿番号を表示すること。」→「該当の出生票、死産票の調査票種別名、事件簿番号、受領簿番号を表示すること。」に修正 備考 「～が存在します(事件簿番号：X～X、受領番号X～X)。多胎の可能性がありますので、内容を確認してください。」→「～が存在します(調査票種別名、事件簿番号：X～X、受領番号X～X)。多胎の可能性がありますので、内容を確認してください。」に修正	2023/8/24

NO.	区分	修正箇所	修正内容	修正日
46	別紙2-1	0380244 多胎と他の子の事件簿番号 の関係	機能要件※2 「該当の出生票の事件簿番号、受領簿番号を表示すること。」→「該当の出生票、死産票の調査票種別名、事件簿番号、受領簿番号を表示すること。」に修正 備考 「～が存在します(事件簿番号：X～X、受領番号X～X)。多胎の可能性があるので、内容を確認してください。」→「～が存在します(調査票種別名、事件簿番号：X～X、受領番号X～X)。多胎の可能性があるので、内容を確認してください。」に修正	2023/8/24